



市川敏子さん・市川淳志さん

保谷町在住／共に40歳代

りました。街や公園、飲みにも！」と敏子さん。「自営業なので常に仕事で頭から離れない。休日は二人のための休日と、はっきりわかるように時間を使いたいです。場所を変えるのが仕事との切り替えには一番です。おやじも12月31日には必ずスキーに連れて行ってくれましたが、同じ思いだったのでしようね」お互いの仕事は理解でき共に働き、遊ぶ二人です。

大事にしていること

「小学校の頃から休みの日には仕事に借り出されることがよくあり、友だちと遊びたくて逃げ帰ったこともありましたが、中学生の時には学校の掲示板を作るまでになりました」

親から引き継ぎ、今は成人した長男とも一緒に携わる内装の仕事に、誇りと喜びを感じている淳志さんです。

「主婦の生活感覚でアドヴァイスをくれたとても助かっています。器用な人で、今では彼女なしには考えられませんね」と淳志さん。「経営面を重視する彼と、お客の要望を第一に考える私はよくぶつかりますよ。対等にね」と笑う敏子さん。二人、脚は快調です。

共に働き変わったこと

「休日は二人で出かけることが多くな

りました。淳志さんの帰宅は10時を過ぎるのが普通で、子どもたちと接する時間はほとんどない。でも彼は常に子どもとかわり

たいと思っています。父親として逃げないで、相談にはきちんと応えてくれて、子どもたちはお父さん大好きなんです。私は父親と子どもとのパイプ役として、互いの気持ちを伝えるなど心がけています」

お互いに感謝を

「結婚して25年。彼は常に義父母と私の間に立つバリアーになってくれました。実家にも同様です。家庭のことは彼との相談だけで決められ感謝しています。仕事をよくし、天職と言う彼をスゴイ人と思っています。今では一番尊敬する人なんです」

「自分は多忙で家の中の事を考える余裕もない中、彼女はよくやってくれます。家庭を明るくしてくれてとても感謝しています」

子どもたちの未来に

「パートナーを大切にすれば、人生はまるく生きられる」と淳志さん。敏子さんは「相手に依存しないで、常に仕事を続けるという意識だけはもち続けてほしいと娘に言っています。それぞれが自立し共に生きる人生を望んでいます」お二人の言葉には実践に裏打ちされた説得力があ

りました。敏子さん30歳の「人生の転機」は家業と家庭にとても絶好の転機となったようです。力を合わせ、心を合わせて築いてきたお二人の歴史が、気負わないお話から伝わってきました。

仕事と家庭における男性の望ましい生き方

